

近江のみたま

護國神社から世界平和を



令和四年二月二十四日にロシアがウクライナに軍事侵攻を開始してから、半年以上の月日が経ちました。未だウクライナに平和は訪れず、予断を許さない緊迫した状況が続いております。祖国や家族の平和を願い、散華された護國のご英靈はこうした悲しい世界情勢をご覧になり、きつと胸を痛めておられることと思います。一日も早くウクライナに平和が訪れ、現地の人々が安心して生活できる環境が取り戻されることを祈るばかりです。

さて、今年もコロナ禍の状況が続きましたが、昨年度に比べると神社へ参拝される方は増加傾向にありました。国宝彦根城へ行かれる観光の方には旅の安全や家族の幸せを祈りに護國神社へお参りいただく。そのような環境を徐々に整えて参りたく存じます。御遺族崇敬者の皆様方におかれましては、護國神社の護持奉斎に格別のご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



揮毫 中野幸彦 賀大社名誉宮司

滋賀縣護國神社
崇敬奉賛会
発行所
滋賀縣護國神社社務所
〒522-0001 彦根市尾末町1番59号
電話 0749(22)0822
印刷 近江印刷(株)



ウクライナカラーで彩られた花手水（ひまわりはウクライナの国花）



滋賀縣護國神社 崇敬奉賛会 会長
河本 英典

平素は滋賀縣護國神社崇敬奉賛会への活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

わが国では終戦来今日まで77年間にわたり平和と繁栄が続いています。当時の記憶がますます薄らいでいく中、崇敬の念の大切さや平和への思いを次世代にしっかりとつないでいくことが大切であります。

平和の礎ともいえる滋賀縣護國神社並びに崇敬奉賛会に引き続きお力添え賜りますようお願い申し上げます。

なんじやもんじや美しく

安土の沙沙貴神社様からお頒ちいただき、平成二十七年に遺族会青年部が植樹したなんじやもんじや(和名ヒトツバタゴ)が美しく咲きました。年を追うごとに大きく生長し、いずれは神社の名所となることを期待致します。



なんじやもんじやの花

春秋季例大祭齋行

四月五日に春季例大祭、十月五日に秋季例大祭を本年も齋行致しました。

両日ともに天候に恵まれ、ご来賓ご遺族崇敬者多数ご参列のもと大祭を執り行うことができました。関係各位に厚く御礼申し上げます。



田中千野先生
吉祥花鳥画御朱印人気



正月の大絵馬を平成三十一年度から描いていただいている東洋画家の田中千野先生には、今年も吉祥花鳥画と吉祥文様の御朱印を各月ごとに描いていただきました。田中先生が描かれた御朱印の絵は大変人気があり、専用の御朱印帳を作って受けられる方もいます。令和五年度も各月ごとに田中先生画の御朱印を授与致しますので、折々にお求めいただければ幸いです。

百花繚乱に蝶と網代文様(8月分授与)

百合は「純粋」 向日葵は「栄光」 ポピー「喜び」 薄紅葵「穏やか」 薔薇とブルーデージーとランキユラス「幸福」 コスモス「平和」 バーベナ「家族団欒」 ペンタス「希望が叶う」 蝶「幸運が舞い込んでくる」 魔除けの網代文様を花籠にみたくて才能豊かな意味も持ちます。





三日月大造滋賀県知事 みたま祭に参拝

本年も八月十三日から十五日までの三日間、みたま祭を無事斎行することができました。特に十三日の夕方には滋賀県知事の三日月大造様をご参拝になられ、山川芳志郎滋賀県遺族会長案内のもと、英霊顕彰館や竹灯籠、戦跡慰霊巡拝展や華道翠香流の花展を見学いただきました。三日月知事には十八時からの奉告祭にもご参列いただき、ご英霊に感謝の誠を捧げていただきました。不思議なことに知事が参拝される頃には空に虹がかかり、これはきつとご英霊が喜んでおられるに違いないと感じた次第です。

十五日の終戦記念全国戦歿者追悼慰霊祭にも、多くの国会議員、県議会議員、各自治体の首長の方々にご参列いただきました。紙面を借りて厚く御礼を申し上げます。



竹灯籠に点火する山川遺族会長と三日月知事



三日月知事玉串拝礼

英霊顕彰館拝観者の声

● 先人の培った礎を大切に、今後の在り方をきちんと見定められる信念が肝要な時。英霊に恥じぬ心持ちで日々大事に生きて行こうと改めて誓います。感謝。

千葉県 男性・女性

● 城を見に来た足でここに来ました。初めての護國神社でしたが、改めて今生きられるのは、この時代が受け継がれたからだと思えます。ありがとうございます。

名古屋市長 男性

● 愛知県よりお参りさせていただきました。祖父母が戦争体験者です。ここ数年学ぶうち、太平洋戦争ではなく「大東亜戦争」が正しく、侵略戦争ではなく「防衛戦争」であ

ることが分かりました。そもそも欧米の植民地支配は大航海時代よりひどいもので、信長・秀吉の時代には、彼らはそれをよく分かっており、警戒していました。ついに大東亜戦争敗戦、GHQ支配、嘘の東京裁判、教育の大変革（文字・古事記を教えない・ウォーギルトインフォームーションプログラム）で、今のようにならなくなりました。ご英霊に申し訳ございません。正しい歴史認識、日本を取り戻すことが何よりの供養です。

京都市 女性

● 初めて来た場所で最初何だろうと思っただけなのですが、実際に戦死された方の写真、当事者の方の和歌を読ませていただき、本当に心が痛みました。戦争の無い時代を永続させるために、将来的に未来を担う人材としてこの経験を胸に抱いて、日々の生活に悔いの無いよう精一杯生きていきたいです。英霊の皆様、安らかに眠り下さい。医師として日本の未来を背負います。

愛知県 女性

● 英霊の皆様は感謝申し上げます。また、そのご家族・お身内の方々がどれほどの心情でおられた事かと思うと言葉に

なりません。今の時代があるのはその方々の犠牲の上である事を忘れてはならないと思います。心からのご冥福をお祈り申し上げます。

京都市 女性

● 若くして散華された英霊のお写真を拝し、悲しみも新たに万感胸に迫る思いが致します。ウクライナの状況を考えると、戦争は大国の都合で起こされるということがよく分かりました。祖国・ウクライナよ！永遠に平和であれ！

大阪市 男性

● 今日の平和は、先人達の血の歴史によりある。

大阪市 男性

● ウクライナの平和を祈りつつ、参拝させていただきました。

岡山県 男性

高槻市 男性

● コロナで世の中のしくみも変化してきています。平和で賑やかな日々が戻りますよう祈っています。

米原市 女性

● 英霊の方々に心より厚く御礼申し上げます。どうか日本の今、そして未来をお守りください。よろしくお願いいたします。

彦根市 男性

● おじいさんも婆ちゃんもあの世で元気にされていますか。昨年は初孫が誕生し、今年三月には息子が式を挙げさせていただきました。本当にご縁を感じます。いつも見守っていただき、大変感謝しております。ありがとうございます。

彦根市 男性

● 今年もこの時期に英霊の方々に感謝申し上げます。旧日本

軍の方々の活躍は、米国や西欧諸国に多大な影響を与えました。

彦根市民

● 私達家族を常にお守り下さり、感謝申し上げます。お蔭様で皆一人一人精一杯頑張り、幸せに暮らしております。安心して下さい。そして未長くこれからもお守り下さい。安らかにお眠り下さい。ありがとうございます。

彦根市 女性

● 祖父の写真飾っていただき、ありがとうございます。ここに来ると顔も知らない祖父に会えます。妹と母を連れてくるのができて良かったです。ありがとうございます。

甲賀市 女性

● 一度叔父さんの写真がこの場で立派にまつられている護國

神社に来たくて、今日来られた事に嬉しくて又涙しています。いつも家族の事、お茶の会社の事、見守って下さっている事に感謝しています。心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

甲賀市 男性・女性

● 毎月、月参拝に来ています。元気で今日を迎えました。夫婦でこれからも参拝できますように。

野洲市男性・女性

● ひこねの朝市に沢山のお店が出ていて、コロナ禍の第七波が広がる中、親子連れがマスク姿で護國神社に参拝している姿は、御英霊も喜んでおられる事だろう。それにつけても社頭入口のシベリア抑留者の碑文にあるロシアの戦後の日本兵の扱いで、多くの日本人が寒さと飢えて帰国できな

かった事や北方領土の占領は、今のウクライナの戦争に通ずるものがあり、怒りを覚える。

栗東市 男性

● 英霊に感謝の誠を捧げ、我が身の人生を大切にしたいと思えます。ありがとうございます。

何某氏

● 日本人よ、平和ボケから早く目覚めよ。こんな日本のために散っていかれた訳ではない。

男性

● 安倍晋三元首相のご冥福をお祈り申し上げます。戦後七十七年経とうが何年経とうが日本が英霊顕彰を忘れることなく、道義国家として世界に誇れる良い国となりますように。

男性

英霊のご存在を将来に互り目に見える形で伝えていくため、英霊顕彰館は平成二十八年に開館しました。お写真掲揚・展示のお問い合わせは、社務所までご連絡下さい。

常任理事会のご報告

コロナ禍により本年も総会は中止とし、六月二十八日に開催した常任理事会の決議を以て総会に代え、書面報告の形式を取らせていただきました。常任理事会では各議案異議無く承認されました。

訃報

当会副会長(元滋賀県遺族会長)の岸田孝一氏が九月二十四日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

御神前で祭文を奏上される在りし日の岸田孝一氏



令和3年度一事業報告

(自 令和3年6月1日～至 令和4年5月31日)

- 令和3年
 - 6月28日 常任理事会 滋賀縣護國神社
 - 9月15日 広報委員会 滋賀縣護國神社
 - 10月5日 秋季例大祭 役員参列 滋賀縣護國神社
 - 10月8日 広報委員会 滋賀縣護國神社
 - 10月15日 崇敬奉賛会通信発行 (10,500部)

- 令和4年
 - 4月5日 春季例大祭 役員参列 滋賀縣護國神社

※神社奉納金 年間3回に分けて350万円を奉納

- ・正月大絵馬の制作 56,930円
画家田中千野先生に制作を依頼 (5年目)
- ・花手水の実施 29,858円
- ・特別事業への積立 100,000円
御創立150周年特別事業に向けて積立
※御創立明治9年(1876年)、令和8年(2026年)
2026-1876=150
令和8年度が御創立150周年の年に該当する

年間を通じ、会員の皆様方には大変お世話になり、誠にありがとうございます。

崇敬奉賛会会員現況

会員数 4,123名

(内 訳)

正会員	3,796名
維持会員	126名
賛助会員	41名
特別会員	18名
終身会員	142名

令和4年10月現在
(昨年度は4,393名)

滋賀縣護國神社は今を生きる我々の幸せを願って散華された、滋賀県出身の殉国の「みたま」をお祀りする神社です。末永く「みたま」をお祀りするために崇敬奉賛会へ、ご加入戴きますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

※ご入会を希望される方は、地元遺族会役員又は直接護國神社へ申し出ください。

申込書

※ご希望の所に☑を入れてください

- 正会員…年額 金 1,000円
- 維持会員…年額 金 3,000円
- 賛助会員…年額 金 5,000円
- 特別会員…年額 金 10,000円
- 終身会員…一時 金 100,000円

〒	
ご住所	_____
電話番号	_____
お名前	_____

〒522-0001 彦根市尾末町 1-59
滋賀縣護國神社・崇敬奉賛会 ☎0749-22-0822